



今、ベトナムは旧正月の真っ最中です！ ベトナムの子どもたちも、カトウ族の子どもたちも一年で最も楽しみにしている行事です。ベトナムでは、この旧暦の正月のことをテトと呼びます。今年は2月10日がその日にあたりました。

ベトナムの正月

旧正月が近くなると、うきうきした様子が街中に広がります。きれいな花や正月飾りをお店が多くなり、店先には商品が山のようになり、新年の訪れを感じさせます。

家も大掃除をして、花でいっぱい

正月のお飾りの一つ。果物で縁起のよい龍をつくっています。ちなみに歯は何でできていると思いますか？ ニンニクです。



いにします。正月にたくさんのお花を咲かせたり、実をつけたりすると縁起がよいとされていることがか

ら、人々は正月前に花や実をつけた植物を買い、家中を花でいっぱいにします。また、新しい服を着て、新しいものをそろえて新年を迎えます。そのため年末の買いものは、子どもにとっても大人にとっても楽しい時間です。

新年の2日前のお昼に、家の前にテーブルをひろげ、お菓子やおもちやお金、テトに食べるおもちやお茶などのお供え物を並べてお線香をたき、祖先の霊を家に迎えます。日本のお盆によく似ていますね。

年末最後の大みそかは大人も子どもも一緒に家族団らんで過ご

一年で一番大切な日

し、ご先祖さまに一年の報告をします。正月の間は、近所や親しい友達と一緒に食事をしたり、お酒を飲んだりして、みんなで健康を祈り、正月を祝います。

子どもたちにとって一番うれしいのは、「リーシン」と呼ばれるお年玉。カトウ族の子どもたちも「リーシン」をもらって、家族だけではなく、遠いところに住む友達にも会えるので楽しみにしています。【石崎絵理】



テト正月中は街中がお花でいっぱいになります

世界史の現場で「石の家」が由来

【1980年ジンバブエ独立】

ジンバブエ

ザンビア

モザンビーク

南アフリカ

ハラレ

国名	ジンバブエ共和国
首都	ハラレ
面積	39万757平方キロメートル
人口	1275万4000人 (2010年推定)

現地通貨

ジンバブエ・ドルは流通停止。米ドル、南アフリカ・ランドが主に流通

アフリカ南部、南アフリカという国の北側は、かつてローデシアと呼ばれるイギリスの植民地でした。北部の北ローデシアは1964年にザンビアとして独立しましたが、南ローデシアはその後、複雑な歴史をたどることになりました。

イギリス系などの白人入植者が多かった南ローデシアでは、白人組織が65年に「ローデシア」という国名で一方的にイギリスからの独立を宣言、少数派の白人が多数派の黒人を抑え込む、南アのアパルトヘイト（人種隔離）体制に似た支配が確立しました。

抑えつけられた黒人たちは、ジンバブエ・アフリカ民族同盟（ZANU）、ジンバブエ・アフリカ人民同盟（ZAPU）といった組織で、白人政権に激しく抵抗します。ZANUは中国、ZAPUはソ連（当時）から支援されゲリラ戦を展開、政権側との大規模な内戦となりました。

内戦を経て、政権と黒人組織は79年に協定を結び、翌80年に総選挙を実施。ZANUが第1党となり、ジンバブエとして独立しました。ジンバブエとは多数派民族ショナ人の言葉

で「石の家」という意味。当地で栄えた、いにしへの王国が築いた石造りの遺跡から取られた名称です。

ZANU指導者のムガベ氏（首相、後に大統領）は独立当初、黒人と白人の融和を訴え、経済成長も軌道に乗せ、国家運営を高く評価されました。ところが、今世紀に入ってから白人農場の強制収容などで混乱を招き、極端なインフレに陥って経済は失速。さらに野党への弾圧で、国際社会から独裁者として強い批判を受けるようになってしまいました。

【ヨハネスブルク・服部正法、写真も】



首都ハラレ郊外の丘陵地には、ジンバブエ独立に至る闘争で命を落とした人々を慰霊したたえる「ヒーローズ・エーカー」と呼ばれる施設があり、多くの人が訪れます